

LPIC シェルの基本操作

[LPIC]

Programming C

シェルプログラミング

コマンドの編集

キー	内容
Ctrl+a	行頭にカーソル移動
Ctrl+e	行末にカーソル移動
Ctrl+d	カーソル上の 1 文字削除
Ctrl+h	カーソル左の 1 文字削除
Ctrl+l	画面をクリア
Ctrl+p	1 つ前のコマンド
Ctrl+n	次のコマンド

コマンドの実行制御

コマンド キー	内容
コマンド 1 ; コマンド 2	コマンド 1 を実行して、コマンド 2 を実行
コマンド 1 && コマンド 2	コマンド 1 が正常終了したら、コマンド 2 を実行
コマンド 1 コマンド 2	コマンド 1 が正常終了しなければ、コマンド 2 を実行
!!	直前のコマンドを実行
! 履歴番号	履歴番号のコマンドを実行
! 文字列	実行履歴のなかで、文字列で始まる直近のコマンドを実行
!? 文字列	実行履歴のなかで、文字列を含む直近のコマンドを実行
^ オプション 1 ^ オプション 2	1 つ前のコマンドのオプション 1 をオプション 2 にして実行
Ctrl+c	処理を中断 (cancel)
Ctrl+s	画面表示を一時中断 (stop)
Ctrl+q	一時中断した処理を再開 (quit)
Ctrl+z	処理を一時停止し、プロンプトへ

シェル変数

変数名 = 文字列

```
$ a='ls -al'
$ $a
```

環境変数

環境変数	内容
PS1	プロンプトの表示文字列
PS2	複数行にまたがる場合の表示文字列
PWD	カレントディレクトリ (PrintWorkingDirectory)
HOSTNAME	ホスト名
USER	ユーザー名
HOME	ホームディレクトリ
LANG	使用言語
SHELL	現在使用しているシェル
LOGNAME	現在のログイン名
PATH	コマンド、プログラムの検索パス
HISTSIZE	コマンド履歴保持数
HISTFILE	コマンド履歴を保持しているファイル

引用符

引用符	内容
シングルクォーテーション	単なる文字列として扱われる
ダブルクォーテーション	変数は展開される
バッククォーテーション	かこまれた内容をコマンドとして扱う
